先端の創薬を通じて
人々の健康と明日の医療に貢献する



あすか製薬株式会社

第92期報告書

2011年4月1日～2012年3月31日

証券コード 4514

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

第92期（2011年4月1日から2012年3月31日まで）の事業概況をご報告するにあたり、ご挨拶申しあげます。

昨年の震災では、株主の皆様に大変ご心配をおかけいたしましたが、全社一丸となり復興に取り組み、安定供給を果たすことができました。ひとえに、株主様のご支援ご協力の賜物と深く感謝申しあげます。

一方、国内医薬品市場に眼を移しますと、高齢化の進展により医療保険財政が圧迫されるなか、後発医療用医薬品の使用促進策が推し進められるなど医療費抑制の社会的要請は強まり、引き続き厳しい状況で推移しております。当社はこのような状況に対処するため、2010年4月から2013年3月末までの中期経営計画「ASKA PLAN 2012」を策定し、領域を絞った新製品開発に経営資源を集中し、強い競争力のある新薬開発型企業を目指しております。「先端の創薬を通じて、人々の健康と明日の医療に貢献する」ことを経営理念とし、法令遵守、倫理的な経営のもと、「社会に貢献し信頼される会社」として発展していきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、宜しくお願い申しあげます。

2012年6月



代表取締役社長

山口　隆

目　次

株主の皆様へ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
営業の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
財務ハイライト（連結）・・・・・・・・・・・・・ 5
主要製品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
トピックス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
会社概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
株式の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
株主メモ

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興に伴い、設備投資や個人消費は持ち直し基調が続き、雇用・所得環境等も改善の動きが見られましたが、欧州の政府債務危機を背景とした海外経済の減速、中東情勢の不安定化に伴う原油高、為替円高懸念など先行き不透明な状況にあります。

医薬品業界におきましては、高齢化の進展により医療保険財政が圧迫されるなか、後発医療用医薬品の使用促進策が推し進められるなど医療費抑制の社会的要請は強まり、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社グループでは、東日本大震災によりいわき工場の製造設備の一部および立体倉庫が損傷し、製品供給に一部支障を来たしましたが、全社一丸となって早期に完全稼動体制を確保しました。経営面では、2010年4月よりスタートした新中期経営計画「ASKA PLAN 2012」の方針に基づき、医薬品事業を中心に適正な医薬情報活動に取り組み売上げの確保に努め、新製品として緊急避妊剤「ノルレボ」、高脂血症治療剤「リピディル錠」ならびに後発医療用医薬品（3品目）を上市いたしましたが、震災による営業活動の制限の影響を払拭しきれないこともあり、売上高は406億3千7百万円（前連結会計年度比11.4%減）となりました。利益面では、販売費及び一般管理費は減少しましたが、売上高の減少および売上原価率の増加の影響により、営業利益9億3千5百万円（前連結会計年度比73.2%減）、経常利益12億2千4百万円（前連結会計年度比66.6%減）とそれぞれ減益となりました。また、特別損失として4億9千7百万円（震災関連の損失4億7千1百万円等、前連結会計年度は特別損失46億6千5百万円）計上したことならびに法人税率の変更に伴う繰延税金資産の取り崩しによる法人税等調整額の増加などにより、当期純利益は7百万円（前連結会計年度は当期純損失7億9千万円）となりました。

各分野における売上状況は、医薬品分野では高脂血症治療剤「リピディル」、甲状腺ホルモン剤「チラーヂン」、前立腺肥大症・癌治療剤「プロスタール」、消化性潰瘍・胃炎治療剤「アルタット」、経口避妊剤「アンジュ」や更年期障害治療剤「メノエイドコンビパッチ」ならびに昨年5月に上市いたしました緊急避妊剤「ノルレボ」等の産婦人科製品、および後発医療用医薬品の前立腺癌治療剤「ビカルタミド」、高血圧治療剤「アムロジピン」、ならびにコ・プロモーション製品を中心に販売努力をいたしましたが、震災後の既存品の競争激化の影響もあり、売上高は367億9千2百万円（前連結会計年度比13.1%減）となりました。

動物用医薬品分野では、主力製品の豚・鶏用飼料添加剤「アイブロシン」、繁殖器官用製剤「セロトロピン」「レジプロン」および飼料用アミノ酸「リジン」「Lーアルギニン」ならびに「Lートレオニン」を中心に販売努力をいたしました結果、売上高は35億2千9百万円（前連結会計年度比10.7%増）となりました。

そのほか、検査、医療機器、食品等の各分野におきましては、それぞれ市況の厳しさが続くなかで鋭意販売努力をいたしましたが、売上高は3億1千4百万円（前連結会計年度比3.7%減）となりました。

生産面におきましては、製品の安定供給体制の構築を図るために、在庫の積み増し、物流拠点の増設ならびに生産設備追加投資などに努め、計画した水準を達成することができました。

研究開発面におきましては、独創性の高い医薬品の開発に注力するとともに、パイプラインの充実を目的とした業務提携にも積極的に取り組んでおります。AKP－004（アルタット細粒20％）は、2012年1月23日付で製造販売承認を取得し、本年7月の発売を予定しております。AKP－501（不妊

営業の概況

症治療剤）はフェーズⅠ試験が終了いたしました。

業務提携におきましては、当社が株式会社そーせいから日本における独占的販売権を取得しておりますSOH－075（緊急避妊剤：商品名「ノルレボ」）は、2011年5月24日に発売を開始いたしました。当社がAlfa Wassermann SpA（本社：イタリア）と日本における開発販売権に関するライセンス契約を締結しておりますL－105（肝性脳症治療剤：リファキシミン）は、フェーズⅠ試験が終了し、まず、肝性脳症の適応取得に向け次フェーズ試験の準備中であります。

また、当社がLaboratoire HRA Pharma,SA（本社：フランス）と日本における開発販売権に関するライセンス契約を締結しておりますCDB－2914（子宮筋腫治療剤：ウリプリスタール）は、フェーズⅠ試験の準備中であります。本剤は、欧米では既に緊急避妊の適応で発売されており、さらに子宮筋腫の適応については、欧州にて2012年2月23日に承認されました。当社が創製しアステラス製薬株式会社と独占的なライセンス契約を締結しておりますAKP－002（排尿障害治療剤）はフェーズⅠ試験を実施中であります。

あすかActavis製薬株式会社につきましては、後発医療用医薬品事業の拡大を図るべく活動中であります。

当連結会計年度における設備投資額は9億3千1百万円で、その内訳は主として生産設備の増強等に係るものであります。

今後の医薬品業界は、本年4月の薬価改定でも実施された長期収載品の薬価追加引き下げや、後発品の使用促進をはじめとする医療費抑制策の影響が大きく、引き続き厳しい経営環境が予測されます。

当社は企業価値の最大化を図るため、組織・人事・制度面での改革を進めてまいりました。今後も改革を緩めず効率的経営に努めてまいります。また、子会社であるあすかActavis製薬株式会社の後発医療用医薬品事業育成に全力を挙げて取り組みます。

生産面では、これまで製品の安定供給体制の構築、特に非常時に備えた在庫の積み増しならびに物流拠点の分散などに重点的に取り組んでまいりました。今後も、非常時の対策はもとより、生産能力増強ならびに品質確保に向けた整備を進めることにより、総合的な安定供給体制の構築を図ってまいります。

研究開発面では、臨床試験実施中の新薬の確実な開発の推進を目指します。また、導出入活動および事業提携戦略を積極的に展開してまいります。

販売面では、医薬品分野につきましては、MR支援システム構築を通じて医薬営業体制の強化と質の高い医薬情報活動、新上市品および販売提携等により売上高の増加を目指します。また動物用医薬品分野につきましては、2010年4月に畜水産事業を承継したことによる事業規模の拡大に機動的に対応すべく営業体制を整備し、売上高の増加に取り組んでおりますが、今後も承継した事業との融合をさらに進め、繁殖と栄養の組み合わせによる相乗効果を最大限発揮できるよう努めてまいります。

費用面では、パイプラインの充実やステージアップにより研究開発投資の増加が予想されますが、効率的な使用や導出等による費用の圧縮に努め、低コスト経営、体質強化を目指してまいります。

内部統制に関しては、業務の有効性および効率性の向上、財務報告の信頼性の確保、業務活動に関わる法令の遵守、会社資産の保全に向け、内部統制システムの強化・定着に努めてまいります。

また、株主の皆様はもとより、広く社会とのコミュニケーションを図り、企業情報を積極的かつ公正に開示するようIR活動を推進してまいる所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	前連結会計年度 2011年3月31日現在	当連結会計年度 2012年3月31日現在
資産の部		
流動資産	**31,526**	**24,210**
現金及び預金	5,195	3,873
受取手形及び売掛金	9,296	8,629
有価証券	7,188	195
その他	9,845	11,512
固定資産	**26,005**	**25,067**
有形固定資産	**13,390**	**12,571**
無形固定資産	**2,643**	**2,138**
投資その他の資産	**9,971**	**10,357**
投資有価証券	4,473	5,014
その他	5,497	5,342
繰延資産	**63**	**47**
資産合計	**57,595**	**49,326**
負債の部		
流動負債	**16,736**	**9,129**
固定負債	**8,656**	**8,378**
負債合計	**25,392**	**17,507**
純資産の部		
株主資本	**32,394**	**31,720**
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	845	845
利益剰余金	32,660	32,273
自己株式	△ 2,308	△ 2,595
その他の包括利益累計額	**△ 191**	**88**
その他有価証券評価差額金	△ 185	88
繰延ヘッジ損益	△ 6	−
少数株主持分	**−**	**9**
純資産合計	**32,202**	**31,818**
負債純資産合計	**57,595**	**49,326**

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前連結会計年度 2010年4月 1日から 2011年3月31日まで	当連結会計年度 2011年4月 1日から 2012年3月31日まで
売上高	**45,849**	**40,637**
売上原価	24,564	22,624
売上総利益	**21,284**	**18,013**
返品調整引当金繰入額	1	△ 0
差引売上総利益	**21,283**	**18,014**
販売費及び一般管理費	17,787	17,078
営業利益	**3,496**	**935**
営業外収益	396	433
営業外費用	230	144
経常利益	**3,661**	**1,224**
特別損失	4,665	497
税金等調整前当期純利益	**△ 1,003**	**726**
法人税等	△ 148	840
少数株主損益調整前当期純利益	**△ 855**	**△ 113**
少数株主利益	△ 65	△ 120
当期純利益	**△ 790**	**7**

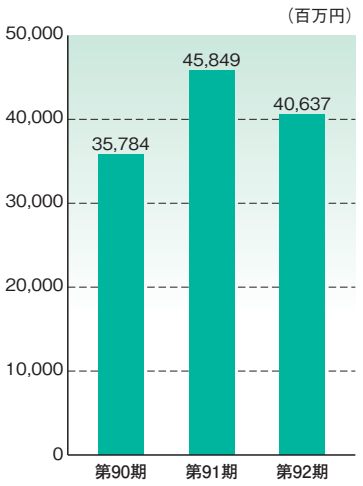
連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

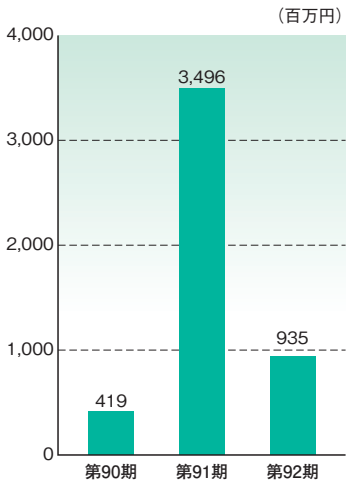
科目	前連結会計年度 2010年4月 1日から 2011年3月31日まで	当連結会計年度 2011年4月 1日から 2012年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	**3,558**	**△ 2,514**
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△ 3,575**	**△ 37**
財務活動によるキャッシュ・フロー	**1,673**	**△ 4,470**
現金及び現金同等物に係る換算差額	**0**	**0**
現金及び現金同等物の増減額	**1,656**	**△ 7,021**
現金及び現金同等物の期首残高	**9,434**	**11,090**
現金及び現金同等物の期末残高	**11,090**	**4,068**

財務ハイライト（連結）

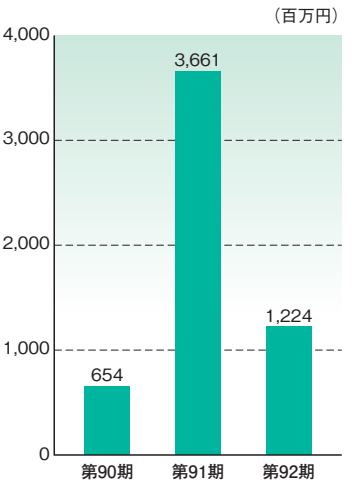
売上高



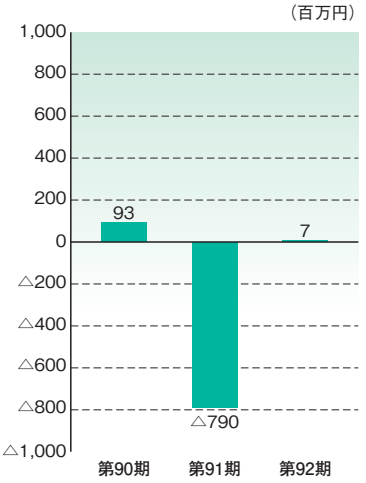
営業利益



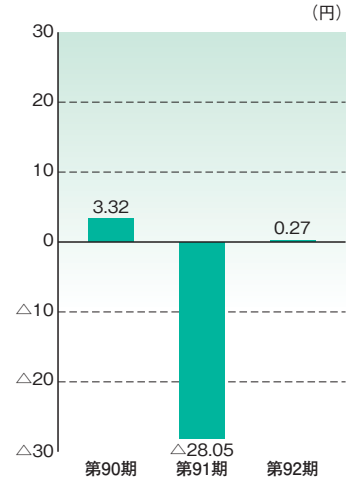
経常利益



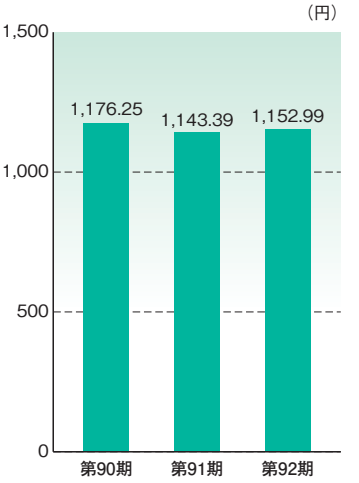
当期純利益



1株当たり当期純利益



1株当たり純資産額



（注）当期末の自己資本比率は64.4％です。

●医療用医薬品



高脂血症治療剤
リピディル錠53.3mg・80mg



甲状腺ホルモン剤
チラーヂンS錠12.5μg・25μg・50μg・75μg・100μg



前立腺肥大症・癌治療剤
プロスタール錠25
徐放性前立腺肥大症治療剤
プロスタールL錠50mg



消化性潰瘍･胃炎治療剤
アルタットカプセル37.5mg・75mg



緊急避妊剤
ノルレボ錠0.75mg



経口避妊剤
アンジュ21錠・28錠



更年期障害治療剤
メノエイドコンビパッチ



前立腺癌治療剤
ビカルタミド錠80mg「あすか」



高血圧症･狭心症治療薬 持続性Ca拮抗薬
アムロジピンOD錠2.5mg、5mg「あすか」

●動物用医薬品および飼料添加物



注射用血清性性腺刺激ホルモン
動物用セロトロピン



犬糸状虫症予防剤
ハートメクチン錠23・68・136



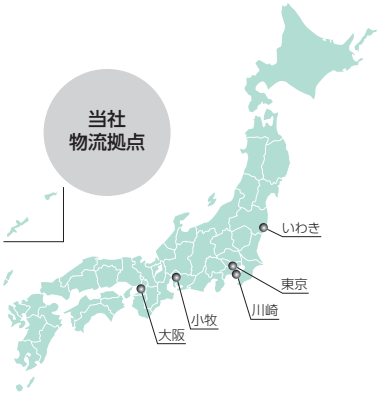
豚・鶏呼吸器疾患治療剤
アイブロシンプラス-10・50



飼料添加物
L-バリン・L-アルギニン

◆ 当社の物流拠点

当社は、医薬品企業の社会的使命として、製品の安定供給に責任を持って取り組んでおります。生産・物流拠点の一極集中がもたらす製品の安定供給へのリスクを分散するため、川崎事業所での物流業務も継続する他、東京地区、愛知地区に外部倉庫を確保するなど物流拠点の分散化を進めております。



◆ 東京国際（羽田）空港に当社イメージ広告看板掲出

2011年10月25日より、当社は、国内航空輸送網の拠点である東京国際（羽田）空港第1旅客ターミナルビル2階南ウイングに、当社のイメージ広告看板を掲出しています。

本看板は、当社の経営理念「先端の創薬を通じて、人々の健康と明日の医療に貢献する」と「Life with ASKA」の文字と共に、当社のシンボルである青い空に向って大きく羽ばたく鳥をモチーフにした、120㎝×370㎝の電飾広告となっています。

空港を訪れる広範囲の方々にあすか製薬の名前をPRすることで、売上高500億円を目指す当社のイメージと知名度のアップを図っています。東京国際空港をご利用の際には、本広告を是非ご覧ください。



◆ あすか製薬の新マスコット「あすかちゃん」

当社は、新しく会社案内DVDを制作いたしました。本DVDは、国産医薬品の黎明期に創業してから、一貫して社会貢献を目指し続けた約一世紀の歴史と、先進の研究開発・生産体制および医療の第一線への情報提供活動を紹介しています。躍進するあすか製薬の「過去・現在・未来」を分かりやすく紹介している本DVDは、当社ホームページ（http://www.aska-pharma.co.jp/company/images.html）からご覧いただけます。

本編の案内役として、当社のCGキャラクターの「あすかちゃん」が登場しています。この「あすかちゃん」について簡単にご紹介いたします。



「あすかちゃん」は、ASKAの「A」を体にしたプヨプヨした、かわいくて元気のある生命体です。よちよち歩いたり、頭のロゴマークを回転させて空を飛んだり、プカプカ浮かんだりすることができます。今後いろいろな場面で、「あすかちゃん」を展開する予定です。

◆ リピディル錠発売記念講演会



「non HDL-C時代のフィブラートを考える　～新ガイドラインを踏まえて～」

高脂血症治療剤リピディルの新剤形である錠剤を発売したことを記念して、2012年4月に東京・大阪の2会場で全国講演会を開催いたしました。

講演では大規模臨床試験である「ACCORD」スタディ、新動脈硬化性疾患予防ガイドラインを中心に、リピディルのエビデンスと高脂血症の最新の話題を取り上げ、会場からの質疑も多い盛況な会となりました。

また両会場あわせて400名を超える先生方にご出席いただきましたことは、あすか製薬の内科領域における活動をご評価いただいたと受け止めております。

今後も最新情報の提供により先生方との関係を深め、世界標準であるリピディル錠の更なる飛躍を目指します。

◆ 新製品発売



持続性選択H_1受容体拮抗・アレルギー性疾患治療剤
ロラタジン錠10mg・OD錠10mg「AA」



高脂血症治療剤
リピディル錠53.3mg、80mg



抗悪性腫瘍剤
イリノテカン塩酸塩点滴静注液40mg・100mg「あすか」



甲状腺ホルモン剤
チラーヂンS錠12.5μg・75μg

◆ アルタットの新剤形の承認取得

2012年1月に、アルタットの新剤形として「アルタット細粒20%」が承認されました。

アルタットは、H_2受容体拮抗剤で、胃酸分泌抑制作用により胃潰瘍・胃炎などの治療に用いられます。アルタットカプセルについては昨年、小児用法・用量が追加承認され、胃酸分泌抑制剤で唯一の小児適応を有する薬剤です。この小児適応に関連してより服用しやすい剤形が望まれていました。

アルタットの主成分は大変苦いのですが、製剤的工夫により徐放性を有しつつ味と香りをつけて服用しやすい細粒剤となっています。アルタット細粒は小児のほか、各種疾患により嚥下困難でチューブ等による投与が必要な患者さん、カプセル剤の服用が困難な高齢者にも服用しやすい製剤です。「アルタット細粒20%」の発売により、あすか製薬の重点領域である内科領域の充実・強化に繋げるためさらに注力してまいります。

◆ 従業員持株ESOP信託導入

当社は、2012年2月6日開催の取締役会決議に基づき、従業員の福利厚生制度を拡充する一環として、従業員持株会の仕組みを応用した信託型の従業員インセンティブ・プランである「従業員持株ESOP信託」（以下「ESOP信託」といいます。）を導入いたしました。

ESOP信託は今後5年間にわたり「あすか製薬従業員持株会」（以下「当社持株会」といいます。）が取得すると見込まれる数の当社株式を、予め一括取得し、その後、当社株式を毎月一定日に当社持株会に売却するものであります。

今後、株価が一括取得時の価格を上回って推移した場合、5年後の信託期間終了時にESOP信託内には株式が残り、この株式の売却益が、当社持株会会員に還元されるというインセンティブになっております。

なお、当事業年度末にESOP信託が保有する当社株式数は、575,000株であります。

会社概要（2012年6月28日現在）

会社の概要

社名	あすか製薬株式会社
設立	1929年6月28日 （創立1920年6月16日）
資本金	11億9,790万円
主な事業内容	医薬品、動物用医薬品、医薬部外品、食品および医療機器等の製造・販売ならびに輸出入
主な事業所	
本社	東京都港区芝浦二丁目5番1号
事業所	川崎事業所（神奈川県川崎市） 西東京事業所（東京都羽村市）
工場	いわき工場（福島県いわき市）
支店	札幌支店、東北支店、東京支店、千葉・埼玉支店、横浜支店、北関東支店、甲信越支店、名古屋支店、京都支店、大阪支店、中国・四国支店、福岡支店
従業員数	832名（3月31日現在） （子会社への出向者41名は含めておりません）

子会社

会社名	資本金	当社の議決権比率	主要な事業内容
	百万円	%	
㈱あすか製薬メディカル	200	100	医薬品原材料等の販売業務 臨床検査業務、 健康食品の販売業務 清掃・警備等の受託業務、 保険代理店
あすかActavis製薬㈱	345	55	医薬品の開発、製造、販売および輸出入

役員

役員	代表取締役社長	山口　隆
	代表取締役専務取締役	山口　雅夫
	専務取締役	金澤　一
	常務取締役	大竹　充
	常務取締役	内藤　朗
	取締役常務執行役員	堀内　敏
	取締役常務執行役員	横山　義廣
	取締役常務執行役員	丸尾　篤嗣
	取締役	上田　栄治
	取締役	吉村　拳典
	常勤監査役	鈴木　肇
	常勤監査役	小泉　直之
	監査役	武田　裕二
	監査役	杉尾　健
執行役員	常務執行役員 （生産本部長）	角張　信隆
	執行役員 （アニマルヘルス事業本部長）	應矢　誠司
	執行役員 （特命事項担当）	秋山　明
	執行役員 （医薬事業本部長）	村上　誠
	執行役員 （信頼性保証担当）	川原　真幸
	執行役員 （研究開発本部副本部長 兼開発研究センター長兼川崎事業所長）	蓮見　幸市
	執行役員 （医薬営業本部副本部長）	松葉　昌行
	執行役員 （特命事項担当）	斉藤　守信

株式の状況

■発行済株式の総数　30,563,199株

■株　　主　　数　3,953名

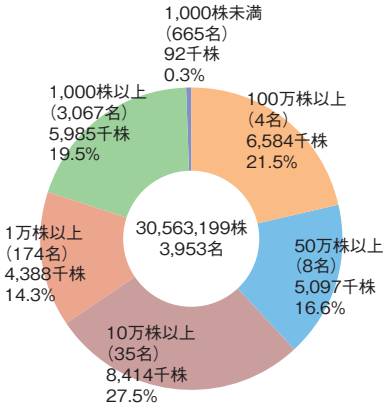
大株主の状況（上位10位）

株主名	所有株数（千株）	持株比率（%）
武田薬品工業株式会社	2,204	7.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,178	4.1
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,100	3.8
山口　隆	914	3.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	890	3.1
あすか製薬従業員持株会	608	2.1
日本生命保険相互会社	579	2.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（従業員持株ESOP信託口・75502口）	575	2.0
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	530	1.8
トーア再保険株式会社	500	1.7
ビービーエイチ ボストン ハートランド バリュー ファンド 620018	500	1.7

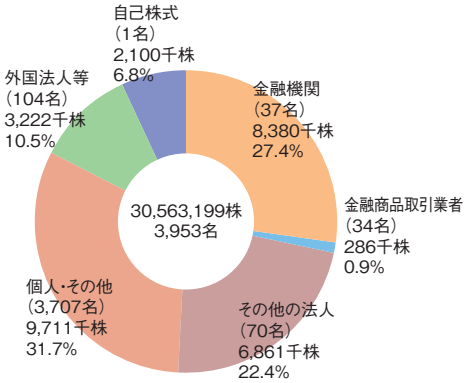
（注）1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、小数第2位以下を切り捨てて表示しております。
3. 持株比率は、自己株式（2,100,748株）を控除して計算しております。

株式の分布

■所有株数別



■所有者別



●株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL　http://www.aska-pharma.co.jp/invest/index.html （ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。）

株主の皆様の声をお聞かせください

下記ＵＲＬにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、
アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

http://www.e-kabunushi.com
アクセスコード 4514
いいかぶ　検索

空メールによりURL自動返信
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます
ＱＲコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のＱＲコードからもアクセスできます。

e-株主リサーチ

※本アンケートは、株式会社 a2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
（株式会社 a2mediaについての詳細　http://www.a2media.co.jp）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」
TEL:03-5777-3900（平日 10:00～17:30）
MAIL:info@e-kabunushi.com

●株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会等の内容	証券会社等に口座をお持ちの場合	特別口座*の場合
・単元未満株式の買増・買取請求 ・届出住所・姓名などのご変更 ・配当金の受領方法・振込先のご変更	お取引の証券会社等にお問い合わせください。	三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ ・特別口座に関するお問い合わせ	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 〒137-8081　東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL. 0120（232）711（通話料無料） http：//www.tr.mufg.jp/daikou/	

特別口座*　株券電子化前に証券保管振替機構（ほふり）に預託していなかった株券の株主様の権利を保全するために、三菱UFJ信託銀行に開設した口座です。

あすか製薬株式会社
本　社　〒108-8532　東京都港区芝浦二丁目5番1号
TEL.03（5484）8361㈹　FAX.03（5484）8351
http://www.aska-pharma.co.jp/

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080
VEGETABLE OIL INK